

令和7年12月1日

「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

大竹委員長

福田委員

岡田委員

1. はじめに

北海道大学工学部環境社会工学科資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年（平成14年）8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に2025年11月に実施した各種アンケートの回答を集計した結果を、「別紙2」のとおり報告する。

2. アンケートの実施方法と書式

令和7年度2、3、4年生を対象としたアンケートは、「別紙1」に示す書式（Google Formを用いたウェブアンケート方式）を用いて下記の要領で実施した。

アンケート実施要領

対象	実施時期		備考
令和7年度 2年生	2025年 10月6日	講義にて	すべてのアンケートを Google Formを用いて回答 。
令和7年度 3年生	2025年 10月2日	講義にて	
令和7年度 4年生	2025年 11月13日 ～23日	各研究室・LINEグループ	

3. 集計・分析結果

別紙2に各学年のアンケート集計結果を示す。以下では、教育システム改善委員会が行った分析結果を設問毎にまとめて示す。今回実施のアンケートの回答率は2年生が33名/35名（94.3%）、3年生が36名/39名（92%）、4年生が31名/36名（86%）であった。別紙1に

は、アンケートフォームをまとめている。

【2年生の分析（33名/35名：94.3%の回答）】

1. 進路に関して（設問：あなたはどのような進路を考えていますか？）

集計の結果を表1に示します。回答者の内82%の学生が大学院進学を希望していることがわかりました。その他にはそれぞれ1票ずつであったため個人が特定できないようにまとめて集計しています。資源関係への就職を希望している学生がそのうち3名となっています。

表1. 2年生の進路

内 容	回答数
大学院進学	27 (82%)
その他	4
未定	2

2. 授業に対するポジティブな意見（設問：授業の内容・方法等がすばらしかった科目）

2件以上の意見が示された科目を表2に集計しています。表2に示すように下記の授業に対して学生からのポジティブな意見が示されました。中でも資源循環デザインでは、“プレゼンの際、先生方の質問に熱意を感じ、やる気がでた。理系の人間としての視点に触れることができた”や、“この学部で学ぶことの概要を1番に教えてくれた”など、先生方との交流やグループワークを通じて資源学への興味を深めるきっかけになっていることが分かります。

表1. 2年生の授業に対するポジティブな意見

科目名/件数	意 見
応用数学 I 3 件	応用数学:初めての内容で難しいが理解しやすい解説だった
	応用数学で学んだ内容を演習することですぐに知識が定着した (応用数学演習 I とともに)
	毎回の演習課題によって計算方法が定着したと感じる。 (応用数学演習 I とともに)
応用数学演習 I 4 件	絶対に理解せざるを得ない形態でわかりやすかった。
	問題量、難易度ともに適切で力が伸びてく感覚が自分で分かった
地球科学 4 件	毎回小テストがあるためしっかりと授業に集中することが出来た 面白かった。

	<p>内容がわかりやすかった。</p> <p>授業に関連する最近のニュースや歴史などテストに出る内容以外にも説明してくれて、知的好奇心がでた。また試験のための重要なところとそうでないところの区別がはっきりしていたのでわかりやすかった。</p>
<p>弾性体の力学 3件</p>	<p>難しい内容を自分たちにできる限りわかりやすく伝えようという指導であった</p> <p>自分は生物選択であったが、丁寧に解説をしてくれて、とてもわかりやすかった。何より、興味を持つことができた</p> <p>とにかく授業がわかりやすかった。質問にも丁寧に返答していた。</p>
<p>計測工学 2件</p>	<p>実際の計測器具を見ることで計測方法についてのイメージが湧いた</p> <p>よかった</p>
<p>資源循環デザイン 8件</p>	<p>プレゼンや調べる練習になりとても助かった</p> <p>プレゼンの際、先生方の質問に熱意を感じ、やる気がでた。理系の人間としての視点に触れることができた。</p> <p>将来のイメージが少し見えるような授業だったため。</p> <p>グループワークで資源について考える機会が多く、周りの人から刺激を受けたため良かった</p> <p>自分たちでテーマ設定をして、プレゼンを班のメンバーで1から作るのは初めての経験であり、学びが多く面白かった。</p> <p>この学部で学ぶことの概要を1番に教えてくれた</p> <p>資源循環デザインの授業では能動的な学習ができ、よりしっかりと理解につながった。様々な観点からの見解を踏まえた上で自分なりの答えを出すのは難しかったが、最もやりがいがあり、内容について深い理解を得られるものだった。</p> <p>プレゼン自体は過去何度かやってきたが、初めての内容で創造力を使うのが楽しかった</p>

3. 授業に対するネガティブな意見（設問：授業の内容・方法等に問題を感じた科目）

ネガティブな意見に関しては下記のような意見が学生から示されています。2件以上意

見が寄せられたものを抽出しました。大別すると、授業内容が難しいことに対する意見、授業の声が聞こえないことに対する意見に分類されました。

科目名/件数	意見
基礎図形科学 9件	声も聞こえにくく、スライドの枚数も少なく理解がとても難しかった
	普段の授業、演習だけでは最終課題に取り組むのが難しかった
	教授の声が聞こえなく内容もとても難しく説明も発展的であった
	内容が難しく、ついていけなかった。
	本当に必要な勉強なのかわからなかった。
	最初は理解できたけど途中からわからなくなった
	声が聞こえい。難しく理解できないが簡単に説明されていない。
	声が聞こえない、授業内容だけではその日の小レポートを回答出来ないほど難しい
	講義中生徒が騒いで教授が何を言ってるのか分からなかったし、教授側も注意をしないので酷かった。また、最終課題の難易度が授業で扱ったものの難易度を大きく越えていて、とても困った。
弾性体の力学 2件	弾性体の力学:難しすぎて自分でもなにをやっているのかわからない状態で授業が進んでいた
	内容が難しい
計測工学 1件	プレゼンの準備時間が授業内になかったため、授業外で準備したとはいえ、質が低くなりがちであったと感じる。もう少し、プレゼンをする目的が明確であって欲しかった。プレゼンをする理由がわからないままやっていた感じがややあった。
建設材料 4件	自分には難しすぎて単位を取ることが出来なかった。
	内容が難しい
	何が重要なことなのか理解できなかった。
	授業のすすみが遅かった。
資源循環デザイン 1件	意味のわからないまま意味のわからないことを発表して終わった。 助け舟が少なすぎるし教員面談も当たり外れ大きい
生物工学概論	難しい

2件	何のためにやっているのか、よくわからなかった。概要を並べて、言ってるだけにしか聞こえなかった。
----	---

4. 成績の評価に疑問を感じたこと

下記のような意見が寄せられました。

科目名/件数	意見
建設材料 2件	あまり出席せず、課題もやっていない人が単位取れて自分が落ちた
	授業に出席し、レポートの提出やテストの出席もしたのに単位をもらえなかった。
資源循環デザイン 2件	MVP だったのに B プラスなのはくやしかったです。
	差がつきにくかった。

5. その他カリキュラムに対する意見

意見は特にありませんでした。

【3年生の分析 (36名/39名 : 92%の回答)】

1. 進路に関して (設問 : あなたはどのような進路を考えていますか?)

集計の結果を表 3 に示します。82%の学生が大学院進学を希望していることがわかりました。その他にはそれぞれ1票ずつであったため個人が特定できないようにまとめて集計しています。資源関係への就職を希望している学生がそのうち3名となっています。

表 3. 進路に関して

回答	回答数
大学院進学	32 (82%)
その他	4

2. 授業に対するポジティブな意見 (設問 : 授業の内容・方法等がすばらしかった科目)

2件以上の意見が示された科目を表 4 に集計しています。表 4 に示すように下記の授業に対して学生からのポジティブな意見が示されました。中でも流体力学は最多の 17 名からの回答がありました。

表 4. 3 年生の授業に対するポジティブな意見

科目名/件数	意見
流体力学 17 件	プレゼンがわかりやすかった
	講義と演習のバランスがちょうどよく、理解しやすかった。
	とても分かりやすい授業だった
	レジュメが見やすい
	内容が面白かった
	先生の話上手く流れるような授業で退屈しなかった
	説明がわかりやすく、理解しやすかった
	基本から順を追って進めてくれるので、理解しやすかった。
	流体力学は難しいイメージしかなかったが丁寧に教えていただき、定理や公式もすんなり頭に入ったから
	教材資料がわかりやすかった。また、各ポイントで練習問題をすぐにやり、解説するのもよかった。
	説明がすごくわかりやすかった
	内容は簡単ではないが、板書も含めてわかりやすく教えてくれた
	流体力学という難しいものをわかりやすく、面白く教えてくださった
	授業がシンプルにわかりやすかった。おそらく初めに今日の流れを説明してくれていたのので、飽きることなく集中できたと思う。
	解説がわかりやすく、退屈しなかった
難しい内容ではあったけどわかりやすい説明、適度な難易度の課題により理解しやすかった。	
難しい内容だが、全員が理解できるよう図を使いながら詳しく説明してくれた	
土の力学Ⅱ 2 件	分かりやすく図を使って解説してくれた
	内容が高度で面白かった
資源循環システム 実験Ⅱ	複雑な内容でも実際に自身の手で操作することである程度理解できた

2件	実際の地質に触れてダイナミックな地質学的プロセスを観察できたり、ミクロな視点から鉱物や鉱石の解析をする方法を学べたり、地質学的なスキルを多く習得でき、今後の研究に用いることができるようになった。
岩盤力学 3件	話が面白くて一回も眠くならなかった 岩盤について、体系的に学べたと思うから。分からない部分は自分で調べたりすることで何も知らなかった状態から、1学期の授業の中では特に理解が深まったから。 先生の授業とはあまり関係のないエピソードが面白かった
資源情報学 2件	パソコンに触れる授業が少なかったから新鮮だった Pythonを一から学ぶ良い機会であった。
資源化学Ⅱ 3件	授業資料がわかりやすかった 先生が忙しい中で毎回の授業準備を丁寧にやってきてくださっていたから 解説がわかりやすく、退屈しなかった

3. 授業に対するネガティブな意見（設問：授業の内容・方法等に問題を感じた科目）

ネガティブな意見に関しては下記のような意見が学生から示されています。2件以上意見が寄せられたものを抽出しました。大別すると、授業内容が難しいことに対する意見、その他の意見に分類されました。

科目名/件数	意見
土の力学Ⅱ 4件	課題が多くテストが難しい 声が聞こえにくい 解説がわかりづらかった 内容が難しく勉強する気がおきない
建築都市学概論 4件	難しくよく分からなかった 教室が生徒でぎっしりで暑いのと、臭かった。 オムニバス形式の授業であり、レポートでの評価だったが、個人的には講評がなければどこをどう直せば良いか分からず、あまり改善点を認識しづらいという点で課題のある授業だと思う。

	地質、資源に対する関連性が薄く感じられた。いっそ環境社会工学科外の授業と連携しても良いかもしれない。
環境化学 6件	難解で分からなかった
	資料が多すぎてなにを勉強すればいいのかわからなかった。
	進度が遅くて退屈だった
	専門用語が多く、資料も多く、結局何が大事かわからなかった。
	何をどのように勉強すればいいのかわかりにくかった。
	.google colaboratory による演習が、特に説明がなく、何をやっているのかよくわからないままほとんどコードのコピペになってしまった。

4. 成績の評価に疑問を感じたこと

下記のような意見が寄せられました。

科目名/件数	意見
粉体力学 3件	テストの採点比重に納得いかなかった。赤点を出さないため、赤点になる人が当たっている問題の比重が大きく、そこを間違えたため成績がかなり下がった
	定期テストの点数の割に成績にあまり反映されてなかった
環境化学 2件	欠席せずに課題を全て出し、テストもそこまで悪くないはずだけど良くない成績だった

5. その他カリキュラムに対する意見

下記のような意見が寄せられました。

- ・ 鉱物学についての授業をもっと多くして欲しい。資源にまつわるからには様々な銅鉱石や鉄鉱石の産状や特徴を把握していて然るべきだと思う。ハード面のみならずマイクロサイエンス的かつ、実際的な授業が欲しい。
- ・ 空きコマがない方が望ましい。

【4年生の分析 (31名/36名 : 86%の回答)】

1. 所属研究室

回答者の所属研究室の内訳は下記の表 5 に示します。全ての研究室の学生からの回答が得られています。

表 5. 回答者の所属研究室内訳

回答	回答数
環境地質学	3
資源再生工学	4
資源循環材料学	5
資源化学	4
資源マネージメント	4
岩盤力学	4
資源生物工学	3
地圏物質移動学	4
合計	31

2. 進路に関して（設問：あなたはどのような進路を考えていますか？）

進路に関する回答を表に示します。回答者の内 87%の学生が大学院進学を希望しています。

表 6. 進路に関して

回答	回答数
大学院進学	27 (87%)
就職希望	4
合計	31

3. 授業に対するポジティブな意見（設問：授業の内容・方法等がすばらしかった科目）

ポジティブな意見が寄せられた科目を表 4 に集計しています。4 年生は 6 科目のみが評価対象であり、寄せられた意見も少なくなっているため全ての意見を載せています。コンストラクションマネジメントにはその中でも 5 件のポジティブな意見が寄せられています。

表 2. ポジティブな意見が寄せられた講義

科目名/件数	意見
廃棄物処理工学 1 件	資料や評価方法（小テストと期末試験）が分かりやすかった。
コンストラクション マネジメント	社会的な内容が興味深かった
	ユーモアにあふれ退屈しなかった

5 件	マネジメントに関する知識は今後人の上に立つ立場として勉強になった
	資料や評価方法（小テストと期末試験）が分かりやすかった。
	授業内容と試験がマッチしていて良かった

4. 授業に対するネガティブな意見（設問：授業の内容・方法等に問題を感じた科目）

下記のような意見（2 件のみ）が寄せられました。

科目名/件数	意見
コンストラクション マネジメント 1 件	結局何学んでるかよくわからなかった
材料工学概論 1 件	講師によって評価手段（小テスト、レポート課題等）が異なり、対応に少々困惑した。

5. 成績の評価に疑問を感じたこと

下記のコメントが寄せられました。

- ・自分と同じか自分より欠席していた人は単位を取得し、自分は取得できなかった。

6. その他カリキュラムに対する意見

下記のコメントが寄せられました。

- ・授業カリキュラムを前倒しにして研究室配属をより早く出来ると学士での研究時間が増えて良いと考えます。

以上

教育システム改善のためのアンケート (令和7年度2年生) 2学期

資源循環システムコース長
中島 一紀

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する、これが大学の使命です。このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的を実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えてご協力下さい。

それでは以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

- 1。 あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？例えば、「大学院進学」，「環境関連の研究者」，「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて下のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

<カリキュラム表>

番号	科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1	応用数学Ⅰ	2	必修	2・1	講義
2	応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・1	演習
3	図形科学	2	選択	2・1	講義
4	地球科学	2	必修	2・1	講義
5	弾性体の力学	2	必修	2・1	講義
6	熱力学	2	必修	2・1	講義
7	計測工学	2	必修	2・1	講義
8	建設材料	2	選択	2・1	講義
9	資源循環デザイン	1	必修	2・1	演習
10	生物工学概論	2	選択	2・1	講義
11	情報エレクトロニクス概論	2	必修	2・1	講義

2. (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。
例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

- 3。 (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。例：「難しすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

- 4。 (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

- 5。 (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

最後に送信ボタンを押して送信ください。
ご協力ありがとうございました。

教育システム改善のためのアンケート (令和7年度3年生) 2学期

資源循環システムコース長
中島 一紀

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する、これが大学の使命です。このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的を実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えてご協力下さい。

それでは以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

1. あなた(学部学生, 大学院生)はどのような進路を考えていますか? あなた(社会人)はどのようなお仕事に就かれていますか? 例えば、「大学院進学」, 「環境関連の研究者」, 「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて下のカリキュラム表を見て、下記(1)~(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4~9月)に受講したものののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

<カリキュラム表>

科目番号・科目名		単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1	流体力学	2	必修	3・1	講義
2	土の力学Ⅱ	2	選択	3・1	講義
3	物理化学演習	1	必修	3・1	演習
4	建築都市学概論	2	選択	3・1	講義
5	資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・1	実験
6	粉体工学	2	必修	3・1	講義
7	インターンシップ	1	選択	3・1	実習
8	岩盤工学	2	必修	3・1	講義
9	資源情報学	2	必修	3・1	講義
10	資源化学Ⅱ	2	選択	3・1	講義
11	資源循環システムⅡ	1	選択	3・1	演習

2. (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。
例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

- 3。 (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。例：「難しすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

- 4。 (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもがいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

- 5。 (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

教育システム改善のためのアンケート ト（令和7年度4年生）2学期

資源循環システムコース コース長
中島 一紀

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する...これが大学の使命です。
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知ることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的を実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。

1. まず、あなた自身についてお聞かせください。

1。 (1) 所属研究室を選んでください。

 Dropdown

1 つだけマークしてください。

- 環境地質学
- 資源再生工学
- 資源循環材料学
- 資源化学
- 資源マネジメント
- 岩盤力学
- 資源生物工学
- 地圏物質移動学
- 国際資源環境システム

2. (2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？
あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？例えば、「大学院進学」，「環境関連の研究者」，「建設業界」などのように記入してください。

2. カリキュラムについて下のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

<カリキュラム表>

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義
2 気象学	2	選択	4・I	講義
3 機械工学概論	2	選択	4・I	講義
4 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義
5 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義
6 材料工学概論	2	選択	4・I	講義

3. (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的だった」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

4. (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。例：「難しすぎて（勉強したにもかかわらず）ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

5. (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

6. (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

ご協力ありがとうございました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

教育システム改善のためのアンケート 令和7年度2年生秋アンケート

実施日：令和7年10月6日

対象数	2年生35名	回答数	33名	回答率	94.3%
-----	--------	-----	-----	-----	-------

1 進路について

内 容	回答数
大学院進学	27
官公庁もしくは院進学	1
資源関係の研究者	1
パイロット	1
商社	1
未定	2

2 カリキュラム表

番号	科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1	応用数学Ⅰ	2	必修	2・Ⅰ	講義
2	応用数学演習Ⅰ	1	必修	2・Ⅰ	演習
3	基礎図形科学	2	選択	2・Ⅰ	講義
4	地球科学	2	必修	2・Ⅰ	講義
5	弾性体の力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
6	熱力学	2	必修	2・Ⅰ	講義
7	計測工学	2	必修	2・Ⅰ	講義
8	建設材料	2	選択	2・Ⅰ	講義
9	資源循環デザイン	1	必修	2・Ⅰ	演習
10	生物工学概論	2	選択	2・Ⅰ	講義
11	情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・Ⅰ	講義

(1)

番号	科目名	件数
1	応用数学Ⅰ	3
2	応用数学演習Ⅰ	4
3	基礎図形化学	1
4	地球科学	4
5	弾性体の力学	3
6	熱力学	1
7	計測工学	2
8	建設材料	1
9	資源循環デザイン	8
10	生物工学概論	1
11	情報エレクトロニクス概論	1

(2)

番号	科目名	件数
3	基礎図形科学	9
5	弾性体の力学	2
7	計測工学	1
8	建設材料	4
9	資源循環デザイン	1
10	生物工学概論	2
	特になし	2

(3)

番号	科目名	件数
8	建設材料	2
9	資源循環デザイン	2
11	情報エレクトロニクス概論	1
	特になし	1
	覚えていない	1
	全て妥当に思う	1

(4)

回答数
2

教育システム改善のためのアンケート 令和7年度3年生秋アンケート

実施日：令和7年10月2日

対象者人数	39
回答者人数	36
回答率	92%

1

回答	回答数
大学院進学	32
就職もしくは大学院進学	1
商社か院進	1
商社	1
新聞記者	1

2 カリキュラム表

番号	科目名	単位	必修・ 選択	学期	講義・演習・実験の別
1	流体力学	2	必修	3・1	講義
2	土の力学Ⅱ	2	選択	3・1	講義
3	物理化学演習	1	必修	3・1	演習
4	建築都市学概論	2	選択	3・1	講義
5	資源循環システム実験Ⅱ	1	必修	3・1	実験
6	粉体力学	2	必修	3・1	講義
7	インターンシップ	1	選択	3・1	実習
8	岩盤力学	2	必修	3・1	講義
9	資源情報学	2	必修	3・1	講義
10	資源化学Ⅱ	2	選択	3・1	講義
11	資源循環システムⅡ	1	選択	3・1	演習

(1)

番号	科目名	回答数
1	流体力学	17
2	土の力学Ⅱ	2
3	物理化学演習	1
5	資源循環システム実験Ⅱ	2
6	粉体力学	1
8	岩盤力学	3
9	資源情報学	2
10	資源化学Ⅱ	3
11	資源循環システムⅡ	1

(2)

番号	科目名	回答数
2	土の力学II	4
3	物理化学演習	1
4	建築都市学概論	4
6	粉体力学	1
8	岩盤力学	1
9	環境化学	6
	特になし	3

(3)

番号	科目名	回答数
6	粉体力学	3
9	環境化学	2
	特になし	3

(4)

	回答数
意見	2

教育システム改善のためのアンケート 令和7年度4年生秋アンケート

実施日： 令和7年11月13～24日

対象者人数	36
回答者人数	31
回答率	86%

1

(1)

回答	回答数
環境地質学	3
資源再生工学	4
資源循環材料学	5
資源化学	4
資源マネジメント	4
岩盤力学	4
資源生物工学	3
地圏物質移動学	4
合計	31

(2)

回答	回答数
大学院進学	27
就職希望	4
合計	31

▶内訳

進路	
	航空業界
	国家公務員
	Researcher Geologist

2 カリキュラム表

番号	科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・実験の別
1	廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義
2	気象学	2	選択	4・I	講義
3	機械工学概論	2	選択	4・I	講義
4	コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義
5	現代物理学概論	2	選択	4・I	講義
6	材料工学概論	2	選択	4・I	講義

(1)

番号	科目名	回答数
1	廃棄物処理工学	1
4	コンストラクションマネジメント	5
	特になし	2
	受講していない	2

(2)

番号	科目名	回答数
4	コンストラクションマネジメント	1
6	材料工学概論	1
	特になし	3
	受講していない	1

(3)

番号	科目名	回答数
5	現代物理学概論	1
	特になし	3
	受講していない	2

(4)

	回答数
意見	1